

(1) 経営計画の取組状況【平成23年度】 ① 広島病院評価表(その1)

別冊①

1 具体的取組

番号	取組方針	取組項目	実績総括	自己評価	委員会評価(案)	委員会意見(取りまとめ案)
1 政策医療機能						
1	救急機能の強化	略	略	◎	◎	救急科医師の増員や運営システムの整備により、救急患者受入れ件数が増加しており、評価できる。 受入れ不可件数やその割合が更に減少するよう、努力していただきたい。
2	周産期医療提供体制の強化	略	略	◎	◎	帝王切開やハイリスク分娩、生殖医療など、日本有数の成育医療センターに相応しい実績を上げている。 この状況を維持するためにも、産婦人科医師の確保という困難な課題に、引き続き積極的に取り組んでいただきたい。
3	がん診療機能の強化	略	略	○	○	臨床腫瘍科や緩和ケア支援センターなどの活動を通して、地域と連携しつつ、広島県全体のがん医療の最適化に貢献している。 5大がんの症例数に係る課題や、がん地域連携バスの運用拡大への取組について検討し、がんセンターなどの将来構想を深めていくよう、期待する。
2 医療人材の育成・派遣機能						
4	人材の確保・教育・派遣	略	略	○	○	初期臨床研修医マッチング率100%、研修人気病院ランキング全国上位、認定看護師数県内1位など人材育成に力を入れ、一定の成果を上げていることは評価できる。 海外長期研修制度の活用・推進を期待する。
5	医療の安全と質の向上	略	略	◎	◎	臨床評価指標2010年の作成・公表などの医療情報や感染対策への取組を、高く評価する。 今後ともHH(ヒヤリ・ハット)レポートの分析を医療安全に繋げていくよう、期待する。
3 患者サービスの向上と経営の効率化						
6	患者サービスの向上	略	略	◎	◎	年19回の地域巡回講演会開催や患者・家族向け冊子の作成などは、高く評価できる。 患者の立場に立ったサービス向上への取組が進められているが、施設の清潔保持等により一層取り組むよう期待する。

委員評価	委員意見(各意見)
◎6	◆救急業務従事医師の増員や運営システムの整備が適切に実施され、結果として救急患者受入れ件数が増加しており、評価できる。 ◆評価する。
◎5 ○1	◆日本有数の成育医療センターに相応しい実績を上げている。 ◆高く評価する。 ◆周産期医療提供体制◎とするには、(現状が厳しいことは承知しているが敢えて)産婦人科医師の欠員充足は求めたい。
◎2 ○4	◆地域との関わりを高く評価した。 ◆臨床腫瘍科や緩和ケア支援センターなどの活動を通して、広島県全体のがん医療の最適化に貢献している。今後は、がん地域連携バスの運用拡大を期待したい。 ◆がんセンター、治療センター構想への将来的展望についての協議の展開が必要。 ◆5大がんの症例数について、課題意識を踏まえた今後の強化に期待する。
◎2 ○4	◆人材育成に関して人と時間の投入量の大きさを高く評価した。 ◆初期臨床研修医マッチング率100%、人気ランキング全国上位、認定看護師数県内1位、は評価できる。海外長期研修制度の活用・推進に努められたい。
◎5 ○1	◆感染対策への取組を高く評価した。 ◆臨床評価指標2010年を作成し公表されたことを、高く評価したい。 ◆紹介率、逆紹介率の目標は達成されている。 ◆医療安全にもっとも貢献するのはHHレポートの分析
◎5 ○1	◆地域との関わりが意識されている点を高く評価した。 ◆19回にも及ぶ地域巡回講演会、患者・家族向けの「脳卒中ガイドブック」の作成、職員による病院内清掃などは、評価できる。 ◆患者の立場に立ったサービスに向けた取組が行われているように感じている。患者の生活自体に関わる施設の清潔保持等に、なお一層取り組むよう期待する。

(1) 経営計画の取組状況【平成23年度】 ① 広島病院評価表(その2)

番号	取組方針	取組項目	実績総括	自己評価	委員会評価(案)	委員会意見(取りまとめ案)	委員評価	委員意見(各意見)	
3 患者サービスの向上と経営の効率化									
7	経営の効率化	増収対策	略	略	◎	◎	◎4 ○2	<ul style="list-style-type: none"> ◆きめ細かいDPC対応が行われている点を高く評価した。 ◆政策医療や急性期医療の充実、適切な診療報酬改定への対応、詳細なDPC分析と診療科への周知など、収益増加に向けての取組が精力的に実施されており、評価できる。 ◆病床利用率は90%以上へ。 	
8		費用合理化対策	略	略	◎	◎	◎4 ○2	<ul style="list-style-type: none"> ◆安芸津病院との共同購入の実施は評価できる。今後は、新SPDシステム導入の成果に期待したい。 	
9		経営機能の強化	略	略	◎	◎	◎6	<ul style="list-style-type: none"> ◆有機的に結び付いた組織となりつつある。 ◆病院事業管理者裁量予算の執行、職員定数条例の改正と弾力的な人材採用・配置、院長による全部署巡回訪問と運営方針説明など、経営機能の強化に努めており、適切である。 ◆医師・看護師長全員に向けた感謝と依頼のメールは、よい取組である。 	
4 連携強化									
10	地域連携状況等	略	略	◎	◎	◎4 ○2	◎4 ○2	<ul style="list-style-type: none"> ◆紹介率・逆紹介率の向上、5大がんをはじめとした地域連携パスの活用、退院調整部門の充実、重症救急患者の受入れ実績評価、地域の医療従事者に対する研修など、積極的に実施している。今後は、地域医療支援病院としてのより一層の取組を期待したい。 ◆県立病院として縦横の連携拠点としてのあり方をさらに模索していただきたい。 	
11	(2病院)協力状況	略	略	◎	○	◎2 ○4	◎2 ○4	<ul style="list-style-type: none"> ◆共同購入については、労多くして功が少ない。 ◆安芸津病院への職員派遣は評価できる。今後は、2病院間の年単位での人事ローテーションを期待したい。 ◆価格交渉はもっと頑張れる。 ◆積極的な連携が図られているが、安芸津病院の現状から見る場合、さらなる連携をさぐる必要性がある。 	
2 取組結果									
5 決算、目標指標									
12	収支改善、目標指標	略	略	◎	◎	◎6	◎6	◆10億円を上回る経常黒字の達成は、高く評価したい。	
総合評価							◎	◎6	<ul style="list-style-type: none"> ◆計画を不足無く、ほぼ完全に達成している。 ◆限られた人的物的医療資源のなかで、公共性と経済性をしっかりと両立させていることは、全国の大規模自治体病院の模範となるものであり、高く評価したい。 ◆精一杯頑張っている。高く評価する。 ◆さらなる課題発見及び課題への取組を続けるという前提で、左記評価とする。

(1) 経営計画の取組状況【平成23年度】 ② 安芸津病院評価表(その1)

1 具体的取組

番号	取組方針	取組項目	取組実績	自己評価	委員会評価(案)	委員意見 (取りまとめ案)
1 政策医療機能						
1	安芸津病院の機能検討	略	略	○	○	安芸津病院が担う役割を明確化し、地域医療機関等との連携強化に努めていることは評価できる。今後は訪問医療の更なる充実や再定義された基本理念に沿った様々な取組の推進を期待する。
2	政策医療の実施	略	略	○		医師確保が困難な中での努力は評価できるが、救急受入れ患者数の減少など、具体的な課題や対策を整理する必要がある。
2 医療人材の育成・派遣機能						
3	人材の確保・教育・派遣	略	略	○	○	広島病院からの初期・後期研修医の受入は評価できる。今後は、地域医療を学ぶ場として、研修プログラムの充実や総合医の育成に努められたい。
4	医療の安全と質の向上	略	略	○	○	電子カルテシステムの導入による医療安全や質の向上への貢献を検証する必要がある。
3 患者サービスの向上と経営の効率化						
5	患者サービスの向上	略	略	◎	◎	住民の院内委員会への参加をはじめとする広報活動や療養環境の患者目線での改善など、積極的に取り組んでおり、評価できる。

委員評価	委員意見 (各意見)
○6	◆地域医療機関等との連携強化に努めた結果、紹介率・逆紹介率はともに前年度比2倍の18%前後にまで増加している。今後は、訪問医療のさらなる充実を期待したい。 ◆役割分担の明確化を評価。 ◆様々な取組がなされている。再定義の内容の取組等について、さらに推進することを期待する。
◎1 ○3 △2	◆平成23年度の救急受入れ患者数は、前年度に比べて減少している。 ◆医師確保等大変な苦勞があり、万策尽きているということかもしれないが、現状の具体的な課題や対策を整理する必要がある。 ◆努力を評価する。
◎2 ○4	◆広島病院からの初期・後期研修医の受入は評価できる。今後は、総合医の育成に努められたい。 ◆努力を評価する。
○6	◆電子カルテ導入を、医療の質の向上と安全の確保に生かされたい。 ◆連携室の充実に期待。 ◆安全にどれだけ貢献しているか。
◎4 ○2	◆療養環境の改善や広報の充実などに積極的に取り組んでおり、評価できる。 ◆住民参加会議は面白い取組である。 ◆患者アンケートに基づく様々な取組がなされている。引き続き患者目線での改善に期待する。

(1) 経営計画の取組状況【平成23年度】 ② 安芸津病院評価表(その2)

番号	取組方針	取組項目	取組実績	自己評価	委員会評価(案)	委員意見 (取りまとめ案)	委員評価	委員意見 (各意見)	
3 患者サービスの向上と経営の効率化									
6	経営の効率化	増収対策	略	略	△	○	○4 △2	<ul style="list-style-type: none"> ◆平成23年度の決算見込みでは、医業収益・患者数ともに前年度に比して減少、未収金は逆に増加している。 ◆結果としては目標達成していないが、立地状況や人員体制等に鑑み努力は評価できる。 	
7		費用合理化対策	略	略	◎	◎	◎3 ○3	<ul style="list-style-type: none"> ◆平成23年度の決算見込みでは、前年度に比して患者数が減少しているにもかかわらず、医業費用は増加している。一方、広島病院との共同購入の実施は評価できる。 ◆経費削減に取り組んでいる。 	
8		経営機能の強化	略	略	○	○	○6	<ul style="list-style-type: none"> ◆病院事業管理者裁量予算枠の執行、職員定数条例の改正と弾力的な人材採用・配置など、経営機能の強化に努めている。 	
4 連携強化									
9	(2病院)協力状況	略	略	○	○	○	○6	<ul style="list-style-type: none"> ◆広島病院から呼吸器・循環器科医師や研修医をはじめ、認定看護師や臨床工学士などの専門職の派遣を受けるとともに、広島病院へは小児循環器専門医を派遣するなど、2病院は密接に協力している。今後は、2病院間の年単位での人事ローテーションや安芸津病院から広島病院への戦略的な提案などに期待したい。 ◆中期的な病院のあり方を踏まえた、戦略的な連携や助力提案を広島病院にしてはどうか。 	
2 取組結果									
5 決算、目標指標									
10	収支改善、目標指標	略	略	△	△	△	△6	<ul style="list-style-type: none"> ◆平成23年度の病床利用率は約75%と、前年度に比べ約6%減少し、目標の90%以上を大きく下回っている。また、資金収支も約233百万円赤字と、目標の104百万円赤字と大きく乖離している。 ◆平均在院日数について目標値を設定し、それに向け計画的に努力するなど、経営改善が必要。 	
総合評価							○	○5 △1	<ul style="list-style-type: none"> ◆政策経費の明確な区分が必要である。 ◆計画をほぼ達成しているが、地域住民の考え方がキーポイントであろう。 ◆限られた人的物的医療資源のなかで、地域特性を反映した公共性の発揮に努めていることは評価できるが、経済性の確保に関しては十分ではない面も見られ、今後の改善を期待したい。 ◆医師確保困難の中での機能維持を評価する。 ◆収集・分析した経営情報等を、どのように活用するかが問われる時期。地域性等からしても難しい事情が多いとは思いますが、思い切った具体的な戦略を立て、実践してはどうか。